



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

2008.3.19 (No.2496) 週報 No.35

第2560地区ガバナー／渡辺敏彦
会長／荻根澤隆雄
会長エレクト／中村和彦(クラブ奉仕A)
副会長／菊池渉(クラブ奉仕B)
幹事／杉山幸英
S A A／浅野金治
会計／山田富義

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(“はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

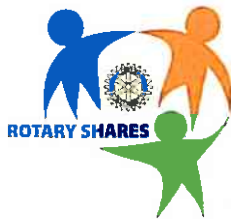
■本日の出席会員数:63名中39名
■先々週出席率:77.78%

【ゲスト】

・岡田 孝様

【先週のメイクアップ】

- [3.13] 三條ローターアクトへ
・荻根澤隆雄さん、成田秀雄さん
・平原信行さん
- [3.13] 三條東RCへ
・菊池 渉さん
- [3.18] 田上あじさいRCへ
・西川 文夫さん



「ロータリーは分かちあいの心」
2007～2008年度国際ロータリーのテーマ



安田の「世界の洋らん展」にて④

会長挨拶

荻根澤隆雄 会長



ご挨拶を申し上げます。

暑さ寒さも何とやらで17日の月曜日から彼岸入りで明日は彼岸の中日であります。これからの陽気が妖気となって眠りを誘う時期となります。

その眠りを覚ます様な事件が中国はチベット自治区で起きました。暴動・騒乱、これを中国政府は実力で押さえ込みました、いわゆる「武力弾圧」です。

20年位前と50年位前にも矢張りチベットで弾圧があったそうです。中国政府からすれば今回もこれは当然の処置かと考えます。

その実力行使を取った中国当局に対する抗議行動、あるいは活動が世界各地で相次いでいる様子がネットで出ております。ネットですから世界中に配信されております。そして法輪功抑圧問題も出ている中で、国際世論の声が大きくなったら果たして平和の祭典と言われるオリンピック、北京オリンピック開催は本当に大丈夫なんでしょうか、些か気になる所でもあります。

さて、いよいよ来週は海外友好クラブで有ります台湾の新竹城中クラブの創立15周年記念式典に出席してきます。

城中クラブからは既に招待状が来ておりまして、当クラブより14名出席の予定で行って来ます。帰りましたら参加会員より式典の様子等も含めながらの訪台報告をして頂きたいと今から頼んで置きますので宜しくお願い致します。

それといま一つ連絡があります。来月の23日の例会が当会の2,500回目の例会であります。

只今、輝かしき記念例会にするべく検討中であり
ますので内容が決まり次第に、会員の皆様にはご案内
をさせて頂きたいと思っておりますので宜しくお願いを
申し上げます。

挨拶終わります。ありがとうございました。

石月良典さん、 石倉政雄さん、 藤田紘一さん
都合により早退させていただきます。

3月19日分 ￥ 22,000
今年度累計 ￥1,133,500

幹事報告

杉山幸英 幹事

◎先週の例会でもお話ししましたが、次週の例会(3月
26日)は、休会となりますのでよろしくお願い致
します。

◎馬場ガバナーエレクト事務所より2008～09年度
地区協議会のご案内が届いております。

と き 5月17日(土) AM9:00～PM6:15

ところ 新潟県県央地域地場産業振興センター

義務出席者 次年度会長・幹事、クラブ奉仕(A)、
クラブ奉仕(B)、社会奉仕、国際
奉仕、新世代奉仕、ロータリー財団、
米山奨学、会員増強 各委員長、
ロータリークラブ活性化委員、
新会員

財 団 BOX

菊池 渉さん

娘が大学生になります。40年前とは比べられませ
んが、リッチな大学生活のようです。

3月19日分 ￥10,000
今年度累計 ￥20,000

ニコニコBOX

荻根澤隆雄さん

いよいよ来週は訪台で新竹城中RC15周年式典に
出席してきます。

今日は岡田様、卓話ありがとうございます。

杉山幸英さん

荻根澤会長より3月13日、三条市高等職業訓練校
の修了式に出席を戴き、三条RCより記念品を戴
きまして、ありがとうございました。

菊池 渉さん

昨日、末娘の卒業式で浦佐まで行って来ました。
入学式と卒業式しか行けない父親でした。

外山 雅也さん

ようやく暖かくなって、ホッとしています。

船越正夫さん、 若槻八十彦さん、 松永一義さん、
明田川賢一さん、 浅野金治さん、 会田二郎さん、
樺山 仁さん、 石塚欣司さん、 川瀬康裕さん、
金子俊郎さん

岡田様、卓話ありがとうございます。楽しみにし
ております。

卓 話

刀 匠



岡 田 孝 様

はじめまして岡田でございます。今ご紹介に預かりましたんですけども、昭和27年にわたしは産まれてまして今56歳です。2000年ですね、三条公社に勤めていたんですけども突然倒れまして脳みそから出

ている神経が前頭葉に入りまして、そこから全身に対して神経が行き渡るその部分がやられてしまったのです。41%だめだという結果がでたんですが、その立ち直りがなかなか治りませんで約4年くらい寝たり起きたりではないのですが、普通に生活していても問題ないんですけども、神経をやられているもんですから、神経の端子がどこにはいるかわからないと、手の方にいっているのか足の方にいっているのか、また手や足の神経が脳の方に完全に伝わらないので誤動作が多くて、とてもじゃないけれども社会復帰というのは難しいということで、お医者さんの方から2、3ヶ月で治るといわれていた病気だったんですけども4年5年かかって、今でもまたかつての症状です。脳を使いすぎると今日みたいなこういうことをやると、明日あたり昏睡状態に陥るんじゃないかなと、やっぱり使いすぎると倒れるという面があるもんですから、社会復帰というのは絶望視しています。リハビリも兼ねて山へ遊びに行ったりしている状態です。

ただ今の職業といいますと無職にちかいですけれども、たまたま三条市の広報に三条市に市民朝市というのがございまして、それで出店者募集ということだったので、わたしは農家の三男坊で土地も何もありませんでした。たまたま山に入っておりますので、山で採れるものキノコを売りますよということで参加させてもらいまして、それで春から山菜でも山の物を専門にやったらどうかということで、土地も財産も何もないもんですから、そういう風な感じでみなさんと接して社会に復帰できているというのが今のわたしの状態です。

子供の時から生き物が好きで山に入ったり川に入ったりしてきたわけですけども、これからみなさんに自然というものはどうなっているのかということをお話ししたいと思います。その代表としてみなさんがよく知っているのはカラス、スズメという類なんですけれども、カラスというのは人間に一番近いところで暮らしている鳥です。頭の良さにおいて

は犬以上ともするとわたしが考えているのは小学校低学年以上の知恵を持っている鳥だとわたしは思っています。わたしは4歳のときに最初に飼った鳥がカラスだったもんですから、それからカラスとのつきあいが始まったわけです。高校3年の時に飼ったカラスがほとんど野放し状態で飼っておいてわたしの所に3ヶ月帰ってこなかったりしても、また家に戻ってくるという生活を続けていたカラスでした。今40歳から50歳くらいでわたしと同じ本城寺地区に住んでいる西鱒田小学校に通っておられた生徒さんは、カラスにずいぶんいじめられてまして、学校から帰ることができない通学することができないという事態にまで人を恐怖に陥れたカラスです。このカラスは学校の給食がはじまる時間になると、グラウンドにいて座っただけで教室がパニックになって、そこからパン1切持って逃げて帰ってくるというのが日頃の状態でしたので、先生とかでは太刀打ちできない賢さといいますものを持っている鳥です。ずる賢いというのもそれが彼らの生き抜く人間と共に生きて行くにはそれしかなかったのかなと思える所があります。カラスですけども七つの子というのに代表されますものがありますけれどもカラスは7つ卵を産みません。百個の卵の中で上手に台風とか風だとかほかの鳥だとか無精卵だとかいうのは関係なくだいたい60羽です。60羽のカラスがほかの鳥に襲われり落ちたり、なわばり争いの影響で巣から落とされたりすることなく育つことができたとしても、50羽から40羽くらいが上手く育つことが出来ます。あとは育つことができません。非常に厳しい世界です。育っていった翌年まで生きてるのはだいたい10羽くらいでしょう。あとは全部のたれ死にします。繁殖期を迎えるのは翌年からと思われるんでしょうけれども、カラスのような鳥になりますと、繁殖できるのは5年から10年経たないとできない、それ以上に厳しいのが生存競争、勝ち抜くということです。それで巣をかけて繁殖できる鳥が100羽のうちに4羽これ以外の鳥は巣をかけることができません。この自然界の法則なんです。

みなさんご存じのブナの木、1本の木から大きい木になると数万の種がとれるんですけども、その実のうちで大きなブナの木になれるものは百年かけて百億個の種がとれたとしても、とてもじゃないけど生き残るのは1本です。全ての子供を助けようと言うふうに考えていくのは人間だけの世界であって、動物の世界においては跡をつけるものはたった1羽か2羽。あとはほとんど死に絶えます。動物たちは

自然界の中で生きていて動物や草を食べたりして生きているわけですが自然と直接関わり合っています。

人間というのはみなさんご存じのように自然界からとれるものは農産物、海からは海産物、そのほかに鉄鉱石などの鉱物資源、石油資源それからあと水です。これらを利用して生きているんですけども、わたしたちの生活はそれをほとんど二次加工三次加工したものを受けて、その次に加工する人それから売る人に手渡すことによって生活が成り立っているのです。自然と直接関わり合うということはずがない世界です。これは動物の世界から見て異常なことです。仕事してるとおっしゃいますけれどもほとんど二次加工して製品を受けてそれを加工して、それを人に渡して飯を食べることが出来るという人間界だけに成り立つ世界です。

それが経済と言うことにおきかえられるんですけども、自然の中にいるとそれと全く別でしてカラスの世界鳥の世界いろいろ見て嫌われているカラス、それから猿、おとし言われた熊、むくどりとかごく一部の動物達は非常に人に嫌われる存在にあるわけですけども、それらの種の起源というのを遡っていけば、この地球に原始生物が生まれて約10億年前とか言われてますけれども、海で生まれたものたちが成長してきて、わたしたちの先祖は猿だとか猿の先祖はねずみだとか言われてますけれども、そういったところまでみていってようやく人間の世界にたどり着いたということ。たまたま時を同じくしてこの地球に生まれた生物であるということですから感じておりません。これについては人というものもほとんど同じであろうと思うんですけども、どうもそれが人間に対しては別の考えをしなければならぬというような風に言われているような気がします。

カラスの話をしていきたいと思いますが、カラスというのは大変頭のいい鳥です。昔はカラスはどのくらいなわばりを持って一家を構えることができたのかといいますと、4町歩から5町歩の土地があればカラスは木さえあればそこで巣をかけて一家を構えることができたんです。ところがご存じのように、今から30年くらい前から各地で土地の整備が行われて木が切り倒されたことによって、カラスたちは繁殖する場所をほとんど失いました。従来通り民家の近くに巣をかけている鳥はなわばりはありますので、そのなわばりはきっちり守っていたので少ししか割り込みができなかったようです。

その後カラスはどうなりましたかといいますと、住む家を失ったわけですのでカラスたちは他の巣を乗っ取りに行くか、つがいを解散して離縁すると繁殖できない状態になりました。繁殖できなかったカラスの渡りの流れ者のカラスというのがいるんですけども、いつかは繁殖する場所を構えるためのカラスの寄せ集めのグループがいるんです。

カラスの食べ物がなくなってそれで何をするか何を食べて生きていくか、タンパク質として何をとりのかとるものがなくなりますよね。多くのカラスは田圃に落ちた米だとかつまんで食べています。それから畑に作付けされれば、農家の人が作られた物をやもら手をだすようになってきています。ほかにタンパク質がないものですから、雀や鳩などの若いひな鳥や、飛んでいるものもこれらは全てえさになります。そうでなければ雛を養ってはいけません。カラスはともすると鷹に匹敵するくらい野鳥を多く捕らえている鳥です。カラスというのは敵対するものが非常に多いと申しましたけれども、鷹だとか鷹だとか猫そういったものとけんかするんですけども、これらに勝つべく初戦は負けるんですけども、次には勝つのです。それは学習して勝つのです。どういう風にやっていくのかということです。カラスは学びをしながら成長して人間と共に暮らしてきた鳥なのです。その鳥を絶滅させることもできないし、いろんなことをやって人間今6月7月はいるとカラスがうちに入るんですけども、打たれるのはひな鳥だけで親鳥はほとんど打たれていません。

言えることはカラスだけではなくてカラスがいるということは、ほかの生物が生き延びていることの証でもありますので、できるだけ自然の中で豊かに生きるにはどうしたらいいか、みなさんはベースになる生き物です。植物雑草と言われて嫌われるんですけども、雑草を大切にしていきたい。そういったことがあることによってフクロウですとか十分に生き延びれる社会が構築されていくと思いますので、是非あまりきれいな世界を望むのではなくて植物それから動物、虫こういったものが豊かな世界が訪れることを、わたしは願って今日のお話は終わりにさせていただきますと思います。

三条ローターアクトの活動

《活動報告》

- ◆ 2月24日(日) 10:30～12:30
第三回会長・幹事会議 (リサーチコア4階 異業種交流プラザにて)
- ◆ 2月28日(木) 19:30～21:00
三条ローターアクトクラブ2月第二例会 (リサーチコア4階 異業種交流プラザにて)
例会テーマ「長久の家の生活支援員に卓話を依頼」
三条ローターアクトクラブは、長年長久の家の寮生との交流会を続けてまいりました。この例会では、長久の家の寮生の普段の生活ぶりをビデオの映像を交えて、生活支援員の長谷川様から、説明していただきました。
- ◆ 3月2日(日) 10:00～17:00
地区大会 リハーサル② (リサーチコア4階 異業種交流プラザにて)
- ◆ 3月8日(土)～ 19:30～21:00
地区大会前夜祭 (燕三条ワシントンホテルにて)
- ◆ 3月9日(日) 10:00～14:30
地区大会記念式典・記念プログラム (リサーチコア7階にて)
- ◆ 3月13日(木) 19:30～21:00
三条ローターアクトクラブ3月第一例会 (リサーチコア4階 異業種交流プラザにて)
例会テーマ「暦にまつわるエトセトラ」
日本には、春夏秋冬という四季が存在し、また1年は正月に始まり大晦日に終わります。先人たちはその1年の移り変わる中に節目をつくり、そして慣習なるものをつくりました。慣習なるものは、例外なく誕生した意味があったり、願望があったりします。この例会では、1年を通して「暦」にまつわる慣習、しきたりの根源をクイズ形式で勉強しました。

《今後の活動予定》

- ◆ 3月23日(日) 13:00～16:00
中越分区合同例会兼地区代表公式訪問 (リサーチコア4階 異業種交流プラザにて)
- ◆ 3月27日(木) 19:30～21:00
三条ローターアクトクラブ3月第二例会 (旬業酒房たかだ)
例会「地区大会 慰労会」
- ◆ 4月3日(木) 19:30～21:00
三条ローターアクトクラブ4月第一例会 (リサーチコア4階 異業種交流プラザにて)
- ◆ 4月17日(木) 19:30～21:00
三条ローターアクトクラブ4月第二例会 (リサーチコア4階 異業種交流プラザにて)

※ 3月の例会は、通常の日程で開催することはできませんので、ご了承願います。
(3月は地区大会開催に当たり、日程を変更させていただきます。)

4月の行事予定

三條ロータリークラブ例会日

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-----------|---|---|--|---|-----------|-----------|
| | | 1 ◆三条北RC クラブフォーラム 「エレクト研修 報告会」 | 2 ◆三条RC 「クラブフォーラム」 姉妹クラブ 台湾新竹城中RC 創立15周年出席 報告 | 3 ◆三条北RC クラブフォーラム 「会長エレクト 研修報告」 | 4 | 5 |
| 6 | 7 ◆三条南RC 「雑誌月間」 丸田 肇一会員 | 8 ◆三条北RC 通常例会 会員卓話予定 | 9 ◆三条RC 通常例会 会員卓話 | 10 ◆三条東RC 通常例会 「ロータリー 雑誌月間」 | 11 | 12 |
| 13 | 14 ◆三条南RC 夜例会「旬例会」 於 村杉温泉 (記帳できます) | 15 ◆三条北RC クラブフォーラム 「次年度に 向けて」 | 16 ◆三条RC 通常例会 会員卓話 | 17 ◆三条東RC 17日(木)→18日(金)~ 19日(土)に花見例会 於 湯田上温泉 「ホテル 小柳」 (記帳できます) | 18 | 19 |
| 20 | 21 ◆三条南RC 外部卓話 日新火災海上保険㈱ 三条サービスセンター 所長 菅野嘉洋様 | 22 ◆三条北RC クラブフォーラム 「次年度に 向けて」 | 23 ◆三条RC 通常例会 2,500回記念例会 卓話 藤田説量 名誉会員 | 24 ◆三条東RC 通常例会 会員卓話 池田英夫会員 | 25 | 26 |
| 27 | 28 ◆三条南RC クラブフォーラム 「地区協 準備打合せ」 | 29 昭和の日 ◆三条北RC クラブ体会(祝日) | 30 ◆三条RC クラブ体会 (記帳できます) | | | |

※近隣RC例会変更のお知らせ！(記帳できます)

- 燕RC ————— 4月17日(木)→16日(水)に4クラブ合同観桜会
- 加茂RC ————— 4月17日(木)夜例会 於 例会場 PM6:30~

次週例会 4月9日 会員卓話 武田 眞二 会員

次々週例会 4月16日 会員卓話 渡辺 稔 会員

